



成田市公民館 ニュースレター

第4号

令和3年
10月15日発

令和3年4月から9月までに行われた、公民館の講座の様子をお知らせします！

主な内容 親子だけのご掘りと竹細工教室(P1)、おもてなし英会話教室(P2)、植木剪定教室(P3)
親子えびがに釣り教室(P4)、夏休みこども絵画教室(P5)、夏休み親子レスキューロボットカー教室(P6)

4月17日(土)「親子だけのご掘りと竹細工教室」／八生公民館

八生地区にお住まいの方々にボランティアとしてご協力いただき、八生公民館にある竹林でたけのこを掘り、その後、竹細工作りを行う講座です。

今回はコロナ対策のため例年より参加人数を減らして開催しました。

参加した親子は、ボランティアの方からたけのこの見つけ方や掘り方を教わりながら、力を合わせてたけのこを掘った結果、1家族あたり6本も持ち帰れるほどの収穫となり、皆さんとても満足そうな様子でした。

続いて行った竹細工づくりでは、小物入れ・篠鉄砲・竹ぼっくり・弓矢をつくりました。子どもたちは、出来上がった弓で的に向けて矢を放ったり、楽しそうに遊ぶ様子が見受けられました。



5月14日・21日・28日、6月11日・18日(金)
「おもてなし英会話教室」／中央公民館

外国人の方と英語でコミュニケーションをとりたいと希望されている市民の方を対象に、5回に分けて実践的なフレーズを覚えていただくという講座です。

講師のアネッタ氏はアメリカ・ジョージア州出身のネイティブ・スピーカーで、中央公民館登録サークル「ハローの会」などで講師を務めており、講師経験が豊富なため、とても分かりやすい講義でした。

また、英語で話しかけられて動揺する初級レベルの参加者に対しても、ユーモアを交えながら参加者に寄り添った対応をされていて、どの参加者も最後には頑張ってお話してみようと受け答えを返すようになり、フレンドリーな雰囲気、楽しい講座となりました。



6月5日(土)・6日(日)「植木剪定教室」／遠山公民館

「植木剪定教室」は、2日間にわたり開催する講座で、初日に植木剪定に使用する道具の使い方や管理・手入れの講義、2日目に実際に公民館の敷地内にある植木での剪定実習という内容でしたが、2日目の天気予報が雨だったため、1日目と2日目の内容を入れ替えての開催となりました。

講師の鈴木先生は、庭師として活躍されている傍ら、高等技術専門学校で指導もされているため、その説明はとても分かりやすく、また先生の優しい人柄もあって、参加者の皆さんは、気軽に質問をしていました。

また、植木剪定教室の参加者の中には、女性の参加者も見受けられ、男性のみならず、女性の園芸への関心が高まっていることが伺えました。参加された皆さんからは、「実際に庭木の手入れの基礎を学ぶことができ、実用的な教室として有意義だった。」「また機会があれば受講したい。」「今回の受講だけでは覚えられないので、またやっていただきたい。」などのご意見をたくさんいただきました。



6月19日(土)「親子えびがに釣り教室」／公津公民館

下方区の協力をいただき、地元の方と参加者との交流を深めながら、自然の中でえびがに釣りを通じて親子のふれあいを図ることを目的とした講座です。 ※「えびがに」とはザリガニのことです。

当日はあいにくの雨模様だったため、えびがに釣りの時間を予定より短くして行いましたが、皆さんたくさんのえびがにを釣り上げていました。

えびがに釣りを楽しんだ後は、地元のえびがに名人（えびがに釣り指導者）に参加者が釣り上げたえびがにの大きさを見比べていただき、一番大きいえびがにを釣り上げた参加者に、大物賞の賞品として釣り網を贈呈しました。

参加された皆さんは、今回の釣果にとっても満足そうな様子でした。



7月29日(木)、8月5日(木)・11日(水)・19日(木)
「夏休みこども絵画教室」／橋賀台公民館

全4回の開催で、アイデア出し、下描き、下塗り、仕上げというように、段階を踏んで絵に取り組めるよう配慮し、毎回30分弱のワークショップ的な作業を通して、絵の技法を学ぶと同時に、絵を鑑賞するポイントなども伝えながら、絵を描く楽しさを感じてもらえるような工夫を取り入れた講座でした。

参加した子どもたちも、皆さん積極的に講師に質問をしながら取り組んでいて、和気藹々としながらもまじめに絵の勉強をしている姿が印象的でした。

最終回までに皆さん1枚は絵を完成させ、楽しく学んだだけでなく、達成感も感じられる講座となったようでした。

「絵の描き方が分かった」「好きな絵を思いっきり描けて楽しかった」といった子どもたちの声のほか、参加者の保護者からも、「毎回子どもが楽しそうに講座の内容を話してくれた」「素敵な絵が描けたようで満足です」などの感想をいただきました。



8月21日(土)・22日(日)

「夏休み親子レスキューロボットカー教室」／下総公民館

下総高校の協力を得て、障害物を乗り越えて走るロボットカーを製作し、タイムを競うことで、科学技術に対する理解を深め、工作の楽しさを学ぶ講座です。

1日目は基本となるレスキューロボットカーを、設計図通りに製作しました。はんだごてを使ってモーターのはんだ付けをしたり、ドリルを使ってタイヤに穴をあけたりするなど、少し危険を伴う作業もありましたが、全員が怪我なく完成させることができました。子どもたちは翌日の午後に行われるタイムレースを楽しみにしている様子でした。

2日目の午前中は、前日製作したレスキューロボットカーを与えられたパーツのみで自由に改造して、コース内の障害物をより早く乗り越えるために、練ってきたアイデアを形にすべく、親子で協力して作業する姿が見られました。また改造後も、午後からのタイムレースに向けて各パーツの微調整を繰り返していました。

午後のタイムレースでは、1人2回のタイム測定を行い、それぞれのベストタイムを記載した完走証を全員に発行し、ベストタイム上位3組の親子を表彰し、記念品を贈呈しました。

講座を通して、試行錯誤しながら自ら考え実行し、成果につなげていくという学習を展開できました。

